

# 地区大会結果報告

全国決勝大会への切符を懸けた、各地区大会の結果をお届け!

北海道大会	岩手大会	福島大会	千葉大会
<b>日程</b> 10月4日(水)、10月5日(木) <b>会場</b> 北海道立野幌総合運動公園テニスコート <b>優勝</b> 松岡/松浦 (ライジング/MTC) <b>準優勝</b> 五十嵐/三浦 (新札幌/新札幌) <b>3位</b> 太田/森山 (ライジング/LINKS) 小池/坂井 (ヴェルデ/ライジング) <b>優勝</b> 松岡/松浦ペア	<b>日程</b> 10月3日(火) <b>会場</b> 盛岡市立太田テニスコート <b>優勝</b> 小野寺/畠山 (はちまんたいTC/はちまんたいTC) <b>準優勝</b> 島尾/菊池 (ラウンドア/北上TC) <b>3位</b> 大澤/林崎 (モリオカロイナル/ラウンドア) 大畑/小野寺 (ラウンドア/はちまんたいTC) <b>優勝</b> 小野寺/畠山ペア	<b>日程</b> 10月10日(火) <b>会場</b> 郡山庭球場 <b>優勝</b> 横田/小形 (郡山TC/ROSSO) <b>準優勝</b> 富谷/湯澤 (美美/美美) <b>3位</b> 大室/坂井 (保原TC/ROSSO) 斎藤/竹野 (さわやか/丸善商事) <b>優勝</b> 横田/小形ペア	<b>日程</b> 10月30日(月) <b>会場</b> オールサムズ船橋 <b>優勝</b> 川井/鈴木 (高洲TC/クラブUTA) <b>準優勝</b> 奥津/野口 (SPTC/楠クラブ) <b>3位</b> 澤田/村中 (SPTC/ローズヒル) 大野/小川 (ken's/ローズヒル) <b>優勝</b> 川井/鈴木ペア
神奈川大会	和歌山大会	奈良大会	大阪大会(1)
<b>日程</b> 10月5日(木) <b>会場</b> エバーグリーンフォレスト横浜 <b>優勝</b> 橋詰/新井 (メガロス横浜/フリー) <b>準優勝</b> 星月/松本 (あざみ野ローン/アデランタ) <b>3位</b> 藤原/沢目 (Team Maple/Team Maple) 着藤/伊藤 (湘南ローン/湘南ローン) <b>優勝</b> 橋詰/新井ペア	<b>日程</b> 10月26日(木) <b>会場</b> 和歌山市立つつじヶ丘テニスコート <b>優勝</b> 大谷/神野 (グリーンTC/Let'sTP西浜) <b>準優勝</b> 松井/山根 (ライズTA/ライズTA) <b>3位</b> 久保/西岡 (O-15/ライズTA) 堀野/下山 (O-15/O-15) <b>優勝</b> 大谷/神野ペア	<b>日程</b> 10月16日(月)、10月17日(火) <b>会場</b> ダイアモンドテニスクラブ学園前 <b>優勝</b> 木村/上内 (ルーセント/TN-21) <b>準優勝</b> 本間/木村 (Splash/T.S) <b>3位</b> 山本/関 (ダイヤ/ダイヤ) 谷本/岡本 (TGK/TGK) <b>優勝</b> 木村/上内ペア	<b>日程</b> 10月10日(火) <b>会場</b> アイ・テニスクラブ <b>優勝</b> 吉野/山下 (TTオレンジ/TNET) <b>準優勝</b> 及川/中谷 (Tennis Dal/エーキューブ) <b>3位</b> 荊川/中嶋 (アイ・TC/美原の森) 三宅/上川 (テニスワールド平野/コス神崎川) <b>優勝</b> 吉野/山下ペア
大阪大会(2)	岡山大会	広島大会	高知大会
<b>日程</b> 10月26(木) <b>会場</b> 相川テニスプラザ <b>優勝</b> 野村/平野 (津/香里グリーンTC) <b>準優勝</b> 由上/三浦 (コス/神崎川/コス/神崎川) <b>3位</b> 三吉/本多 (カクテル企画/カクテル企画) 石川/深井 (ルーセント/カラバッシュ) <b>優勝</b> 野村/平野ペア	<b>日程</b> 10月26(木) <b>会場</b> 浦安総合公園テニスコート <b>優勝</b> 西崎/塚本 (スマイル/ガーデングリーン) <b>準優勝</b> 土屋/吉原 (ガーデングリーン/ガーデングリーン) <b>3位</b> 岡田/岩屋 (ガーデングリーン/ガーデングリーン) 赤木/古武 (フリー/H-TENNIS) <b>優勝</b> 西崎/塚本ペア	<b>日程</b> 10月23日(月)、10月24(火) <b>会場</b> N B テニスガーデン <b>優勝</b> 宮松/清水 (西条RTC/西条RTC) <b>準優勝</b> 奥良/大谷 (西条RTC/アインダ広島西) <b>3位</b> 松浦/平田 (M&遊/GSH+J) 山口/安村 (M&遊/やすいそ庭球部) <b>優勝</b> 宮松/清水ペア	<b>日程</b> 10月27(金) <b>会場</b> 高知県立春野総合運動公園 <b>優勝</b> 小野/明神 (セビア/エムス) <b>準優勝</b> 中野/西山 (UPS/一宮) <b>3位</b> 柴田/田中 (YCC/セビア) 飛鷹/伊井 (セビア/セビア) <b>優勝</b> 小野/明神ペア
佐賀大会	<b>YONEX LADIES CHALLENGE CUP 2017</b> <b>ヨネックスレディースチャレンジカップ</b> 予選を勝ち上がった53代表が決定! 決勝大会は12月13・14日横浜で		
<b>日程</b> 10月6日(金) <b>会場</b> グラスコート佐賀テニスクラブ <b>優勝</b> 服巻/中川原 (大隈TC/インフィニティ) <b>準優勝</b> 津曲/古川 (ファインヒルズ/リョウユースポーツ) <b>3位</b> 北島/白武 (リョウユースポーツ/リョウユースポーツ) 志岐/舘岡 (TC上明/TC三日月) <b>優勝</b> 服巻/中川原ペア	10月30日の千葉大会(オールサムズテニスクラブ)を最後に、各都道府県代表が出揃った! 昨年行なわれた大会(写真)では、神奈川代表が全国No.1の称号とオーストラリア旅行を手にした。 果たして今年は、どの地区のペアが最後に微笑むのか?		

**優勝** 服巻/中川原ペア

**優勝** 服巻/中川原ペア

**全国決勝大会**  
**日時** 2017年12月13日(水)、14日(木)  
**会場** 横浜国際プール・インドア特設コート(屋内コート5面)

**YONEX** **スマッシュ** **VINCE BARCLAY TENNIS ACADEMY** **Wellness** **DyDo**



## 目指すは横浜決戦! 貴婦人たちの熱き戦い

### ヨネックスレディースチャレンジカップ2017

5月からスタートした「ヨネックスレディースチャレンジカップ2017」の地区予選大会。その全日程が終了し、12月に行なわれる全国大会へ出場するチームが決定した。オーストラリア旅行の挑戦権を手にしたのは、各地区予選を勝ち上がった54組。その中から今回は東京大会(高松ローンテニスクラブ)の様子をレポートしよう。

主催:ヨネックス株式会社  
 特別協賛:ダイドードリンク株式会社  
 協賛:ピンス・パークレーテニスアカデミー/東京Beautyline/東京ウェルネス株式会社  
 後援:月刊「スマッシュ」  
 協力:全国各地テニスクラブ

### 東京大会

日程 10月16日(月) 会場 高松ローンテニスクラブ

**オープングラス** **優勝** 澁谷/近藤ペア(フリー) **準優勝** 大山/村田ペア(フリー)  
**3位** 和田/奥田ペア(フリー) 安齋/宮田ペア(サンピア・ダイアナ)

**準優勝** 澁谷/近藤ペア

**優勝** 大山/村田ペア

**ベストドレッサー賞** 寺部さん(左)と入澤さん(右)のペアがベストドレッサー賞に輝き、本村プロと記念撮影した

**本村プロとのトークセッション**  
 雨のため本村プロによるレッスンは流れてしまったが、代わりに座談会が企画された。本村プロが参加者からの質問に丁寧に答える姿がとても印象的だった

降りしきる雨と寒さに負けず昨年準優勝ペアが悲願の優勝

去る10月16日、東京・練馬の「高松ローンテニスクラブ」で「ヨネックスレディースチャレンジカップ2017」の東京大会が開催された。

この大会は、全国各地で予選を行ない、その勝者が一堂に集まり全国大会を戦うという、伝統のレディース・ダブルス大会だ。全国優勝の副賞がオーストラリア旅行ということもあり、知名度も、レベルも年々高まってきている。

東京大会の開催日は、あいにくの雨模様。コート面数の関係で予定されていたステップアップクラスの大会は延期となり、この日は

屋根付きの全天候型コート2面で、全国大会行きをかけたオープングラスのみが実施された。また、途中から元全日本チャンピオン本村剛一プロが応援に駆けつけ、ラウンジを使って座談会も実施された。参加者からは技術面、メンタル面、身体のケア方法など、多くの質問が飛び交った。

大会はリーグを戦い、上位ペアがトーナメントへ進むというものが、タイトなスケジュールと寒さでコンディションづくりが難しい環境であったが、力のあるペアが順調に勝ち残っていく。そして見事全国大会への切符をつかんだのは、優勝候補と見られていた澁谷/近藤ペア。強烈なサービスと素早いフットワークが持ち味の2人は、

決勝では5-1からやや自滅に近い状態で3ゲームを落としたが、ラストは本来のプレーを取り戻し、昨年準優勝に終わった雪辱を見事に晴らした。

試合後は、喜びよりも「40-0からしっかり勝ち切らない」と反省を口にした2人は、全国大会までにはさらなるレベルアップを誓っていた。

この澁谷/近藤ペアと同じように、それぞれの地区大会を勝ち上がったチャンピオンたちが、12月13、14日、横浜で相まみえる。果たして、オーストラリア行きの切符を手にするのはどのペアになるのか? 全国大会の様子は、本誌3月号(1月20日発売)にて詳細にレポートするので、お楽しみに。

**ナイスショット!** **任せて!** **ジャンケンポン!** **頑張りましょう!**

**それっ!** **和気あいあいとした雰囲気で行なわれた東京大会。日頃の成果は出せましたか?**